

東北地方 3か月予報

(9月から11月までの天候見通し)

平成20年8月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
気温は、高い確率が50%です。

9月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
気温は、高い確率が50%です。

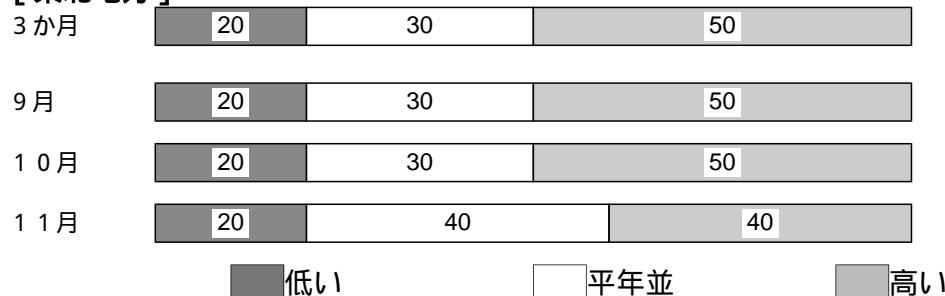
10月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
気温は、高い確率が50%です。

11月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

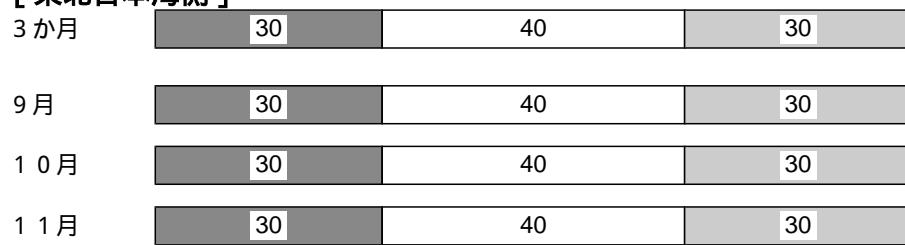
<<気温>>

[東北地方]



< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



 少ない

 平年並

 多い

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月29日

3か月予報：9月25日(木) 14時

寒候期予報：9月25日(木) 14時

9月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	9月	10月	11月	9月～11月	9月	10月	11月	9月～11月	9月	10月	11月	9月～11月
青森	18.9	12.6	6.4	12.6	119.8	106.0	131.7	357.5	160.0	152.9	91.4	404.2
深浦	19.1	13.3	7.5	13.3	176.0	165.6	147.2	488.7	155.4	135.3	71.4	362.1
むつ	18.0	12.2	6.3	12.1	172.7	115.4	115.4	403.5	144.4	159.9	106.5	410.8
八戸	18.6	12.7	6.6	12.7	167.7	77.0	61.2	306.0	144.1	163.1	136.5	443.7
秋田	19.9	13.6	7.6	13.7	177.9	160.7	183.5	522.1	154.9	148.1	84.7	387.7
盛岡	18.3	11.8	5.7	11.9	157.5	97.8	93.1	348.4	123.7	149.0	118.8	391.4
大船渡	19.3	13.8	8.2	13.8	218.7	142.3	104.5	465.4	119.1	146.9	139.5	405.6
宮古	18.6	13.1	7.7	13.1	229.4	105.7	85.6	426.7	123.0	155.8	146.3	425.1
仙台	20.4	14.8	9.1	14.8	218.4	99.2	66.8	384.3	119.8	151.8	140.2	411.8
石巻	19.9	14.2	8.3	14.1	163.1	104.1	65.1	332.3	134.0	159.7	149.3	443.0
山形	19.7	13.2	7.2	13.4	134.3	76.0	80.8	291.1	125.6	131.1	99.6	356.3
新庄	19.0	12.3	6.2	12.5	153.0	151.9	195.4	500.3	112.3	103.6	62.1	278.0
酒田	20.5	14.7	9.0	14.7	185.4	173.7	223.9	584.3	149.6	143.1	80.4	373.1
福島	20.7	14.8	9.0	14.8	169.2	95.3	63.4	327.8	112.6	139.3	130.6	382.5
若松	19.9	13.2	7.0	13.4	134.0	77.6	73.3	284.8	125.2	119.9	88.3	333.4
白河	19.1	13.2	7.6	13.3	215.9	111.9	65.0	392.9	111.3	144.2	146.4	402.0
小名浜	21.3	16.1	10.8	16.0	205.8	153.1	87.7	446.6	135.5	155.3	160.2	451.0

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	9月	10月	11月	9月～11月
気温平年差()	東北地方	-0.5～+0.2	-0.6～+0.3	-0.3～+0.5	-0.3～+0.4
	東北日本海側	-0.5～+0.3	-0.6～+0.4	-0.3～+0.5	-0.4～+0.4
	東北太平洋側	-0.4～+0.3	-0.4～+0.3	-0.3～+0.6	-0.2～+0.4
降水量平年比(%)	東北地方	86～110	83～105	80～107	95～107
	東北日本海側	83～108	88～107	92～103	93～111
	東北太平洋側	87～112	63～113	68～111	93～108
日照時間平年比(%)	東北地方	97～106	97～103	96～106	98～102
	東北日本海側	99～108	97～101	95～106	96～103
	東北太平洋側	97～106	99～106	95～105	98～103

(4) 接近する台風の平年値

	9月	10月	11月
東北地方	0.8	0.3	0.0

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（9～11月）

平成20年8月25日 仙台管区気象台

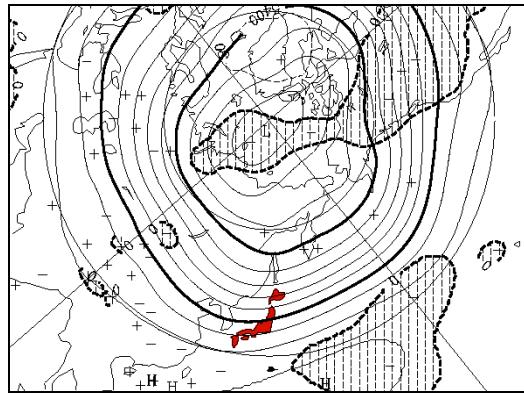
1. 向こう3か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
9～11月	高い確率が50%	各階級の確率の偏りは小さい
9月：	高い確率が50%	各階級の確率の偏りは小さい
10月：	高い確率が50%	各階級の確率の偏りは小さい
11月：	平年並または高い確率とともに40%	各階級の確率の偏りは小さい

2. 数値予報（アンサンブル予報）による大気の流れの予想

3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図（右図）：

予想図では、日本の南東海上に負偏差（平年より高度が低く、一般に寒気に対応）が広がるが、日本を含む中緯度帯は帶状に正偏差（平年より高度が高く、暖気に対応）となる。東北地方は寒気の影響を受けにくく、3か月平均気温は高めの傾向が予想される。



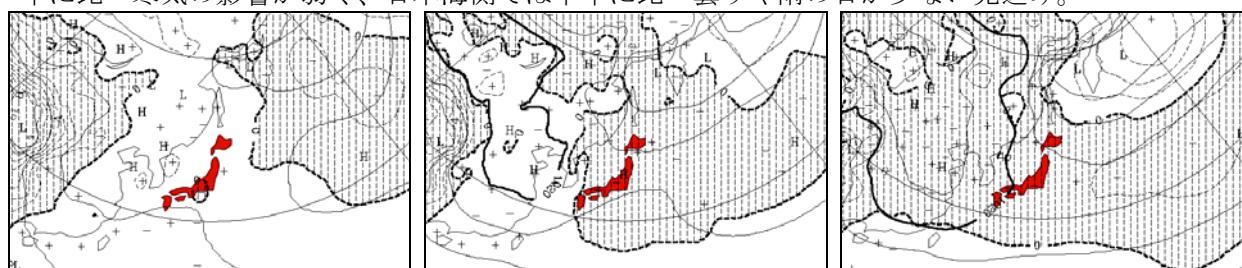
3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図
実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）

月別の地上気圧と偏差の予想図（下図）：

9月：日本付近は正偏差で、太平洋高気圧が日本付近で平年より強い予想。東北地方の天気は数日の周期で変わるが、前線や低気圧の影響を受け平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。

10月：日本付近は負偏差で平年に比べ日本付近で高気圧は弱めの予想。南からの暖湿流も入りやすく、東北地方の天気は数日の周期で変わるが、太平洋側では多雨傾向が予想される。

11月：日本付近は負偏差の予想。東北地方の天気は数日の周期で変わるが、平年に比べ低気圧の影響を受けやすい見込み。また、大陸の高気圧は負偏差、アリューシャンの低気圧は正偏差で平年に比べ寒気の影響が弱く、日本海側では平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。



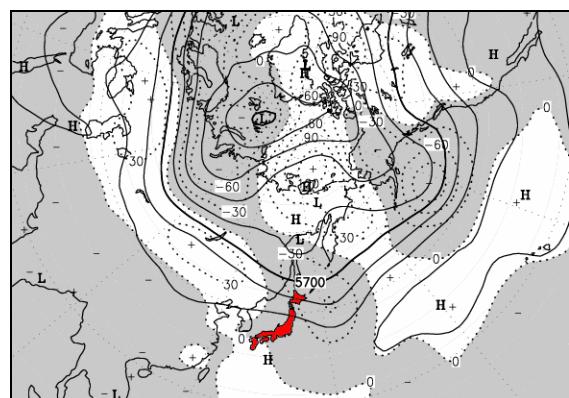
月別の地上気圧と偏差の予想図（左から 9月、10月、11月）

実線は等圧線 4hPa 毎、点線は偏差 1hPa 毎、陰影部は負偏差

3. 今月の循環場の特徴

8月(20日まで)：500hPa高度では、日付変更線付近の北緯30度帯や南西諸島付近は正偏差となった。一方、東シベリア付近にブロッキング高気圧があり、その南側の日本の東を中心に寒気が南下した。オホーツク海や日本の東は負偏差となり、北海道や本州も負偏差におおわれた。

東北地方は寒気や気圧の谷の影響を受け、低温となる時期があった。また、中旬後半は前線や上空の寒気の影響を受け、曇りや雨の日が多くなり、大雨となったところもあった。



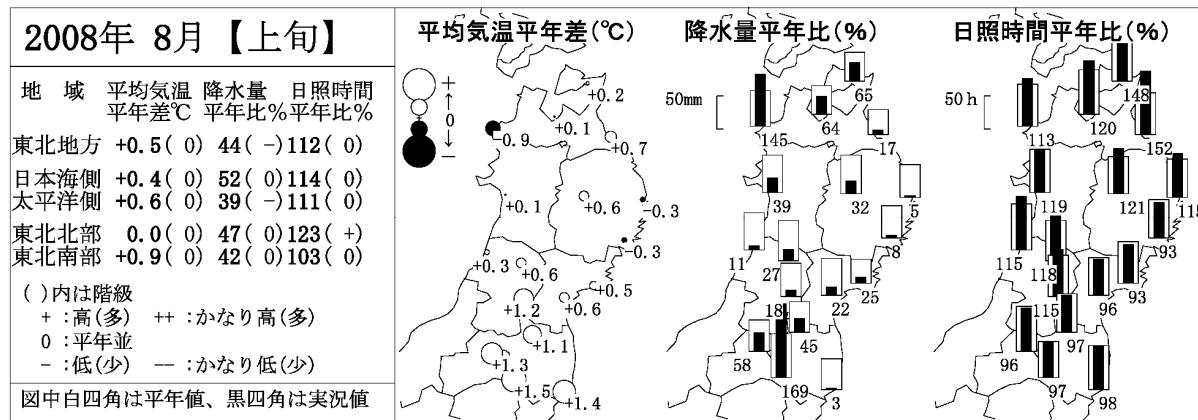
8月1日～20日の平均500hPa高度

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎、陰影部は負偏差

4. 最近の天候経過

8月上旬：期間の前半は気圧の谷や東北地方をゆっくり南下した前線の影響で曇りや雨の日が多くたが、期間の後半は高気圧におおわれおおむね晴れた。5日には、上空の寒気や前線の影響により大気の状態が不安定となり、福島県白河で1時間に60.0mmの大雪となった。

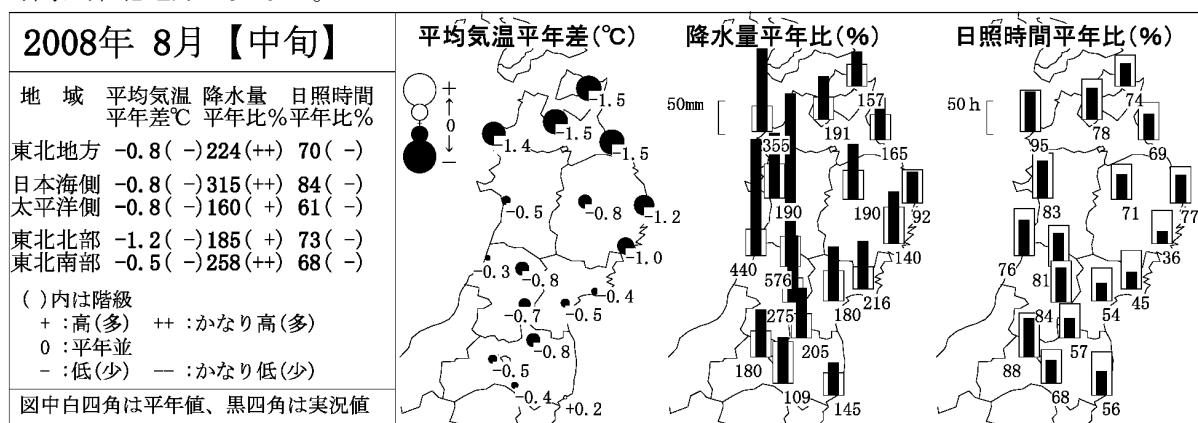
平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。



東北地方における8月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

8月中旬：期間のはじめは高気圧におおわれおおむね晴れたが、東北太平洋側では湿った東よりの風の影響で曇る日もあった。期間の中ごろからは低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨となったところもあった。山形県や福島県では強雨害や浸水害などが発生した。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北地方で少ない。

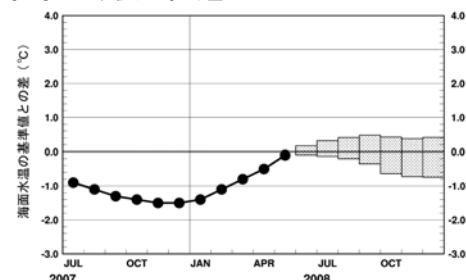


東北地方における8月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

5. 太平洋赤道域の海水温等の状況、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

中部太平洋赤道域の海面水温偏差域は前月より狭まり、東部の正偏差は強まった。海洋表層（海面から深度数百mまでの領域）の水温では、西部と東部の正偏差が前月より弱まった。

エルニーニョ監視海域の海面水温は、今後基準値に近い値で推移すると予測される。今後秋にかけてエルニーニョ現象あるいはラニーニャ現象が発生する可能性は低い。



<参考資料>

平年の天気出現日数（日）

エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の推移（折れ線グラフ）と今後の予測（ボックス）

	9月		10月		11月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	14.3	13.2	14.8	17.6	9.2	17.7
雨の日	12.5	12.0	13.0	8.8	15.8	8.1

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」を用いている。